文部科学省認可通信教育

だんだん

放送大学島根学習センター
153号
2026年10月発行

〒690-0061
松江市白潟本町43 スティックビル4階
☎0852-28-5500 FAX0852-28-1800
✉ shimane-sc@ouj.ac.jp



◆ 客員教員紹介、客員教員の「談・談」 ・・・・ 2～3
◆ 行事の報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～9
◆ 行事の案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
◆ お知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～20
◆ 同窓会通信・サークル紹介 ・・・・・・・・・ 21
◆ スケジュール（10・11・12月） ・・・・・・・ 22



客員教員紹介

島根学習センターでは、６名の客員教員が勤務しています。ゼミや学習の相談に対応します。各客員教員の勤務日等については、P16 ゼミ、P18 学習相談をご覧ください。

①現職等　②専門分野　（五十音順）

	**大谷修司 客員教授** ① 島根大学名誉教授 ② 植物分類学	昨年４月から放送大学に勤めております。よろしくお願いします。前職は島根大学教育学部で、生物学を約３０年担当していました。 研究対象は顕微鏡的サイズの水田のミカヅキモや宍道湖・中海の植物プランクトンなどで、大きさや形から種の名前をつけたり、藻類を試験管の中で培養して生活環の研究をしてきました。島根大学の生物学演習では島根大学構内の植物観察を毎週実施し、生物学実験の材料はできるかぎり島根大学構内から採集しました。放送大学のゼミでは皆さんと放送大学周辺で植物を採集してそれらの花や葉の構造を、眼、ルーペや実体顕微鏡で観察したいと考えています。いっしょに楽しく学習を進めていきましょう。
	**千代章一郎 客員教授** ① 島根大学教授 ② 建築学	本務校の島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など、建築デザインについて幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究にも取り組んでいます。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。島根学習センターでは、興味を持った建築作品について、いろいろな角度からじっくりと検証し、ディスカッションを通して、新しい「建築」の見方を発見できればと思います。
	**武田信明 客員教授** ① 島根大学名誉教授 ② 日本近代文学	客員教授をつとめる武田信明です。どうぞよろしくお願いします。専門は、日本近代文学、分かりやすく言うなら明治から現代までの文学作品を研究しています。今回のゼミナールでは、まずは各自が読んで自由な感想を持つことを出発点とします。そして、私が「読み方」のヒントを提供しますので、これまでとは異なる様々な観点から小説を読んだり、考えたりするという体験もしていただきたいと思います。小説の読み方に正解はありません。しかも人それぞれ関心は異なります。他の人の感想を聞くことも楽しいですし、新しい読み方を知ることも楽しいでしょう。そのような「知的」な意味で楽しい時間にしたいと思います。
	**田中芳文 客員教授** ① 島根県立大学名誉教授 ② 英語学・社会言語学	今年度から客員教員を務めます田中です。これまで島根県立大学の看護栄養学部（出雲キャンパス）と人間文化学部（松江キャンパス）で英語の授業を担当してきました。専門は英語学、および社会言語学で、特に「ことばと文化」の視点から英語を研究しています。具体的には、医療現場や犯罪捜査の現場に特有の英語表現、英語のブランド名とその背景文化、カリン・スローターなどミステリー作家の英語表現、サッカーのようなスポーツ報道に見られる英語表現などについて調査・研究し、その成果を辞書のかたちで発表しています。みなさんといっしょに、英語という言語のおもしろさを楽しく学んでいきたいと思います。
	**村瀬俊樹 客員教授** ① 島根大学名誉教授 ② 心理学	乳幼児が母語を獲得する過程を中心に、心の発達、心と文化の関係について研究をしてきました。私たちがものごとを考えるとき、自分の視点から自分の持つ枠組みを当てはめて考えがちですが、そこには偏りがあります（認知バイアスと呼ばれ、私もその塊です）。認知バイアスのおかげで、様々なことに対処できる側面もありますが、それを暴走させると困ったことがいろいろ生じます。心理学の実験や調査の結果と対話をしてみると、状況によって考え方がどう変わるのかがわかるなど、ものの考え方を、多角的にとらえ客観的に見ることができます。皆様と一緒に、人間のものの考え方のおもしろさを楽しく味わっていければと思っています。
	**山崎泰孝 客員准教授** ① 島根大学准教授 ② ドイツ文学	客員教員としてつとめています山崎です。私の専門はドイツ文学で、とくに２０世紀前半の作家たちを研究対象としています。今年度のゼミであつかうカフカの作品は本務校の島根大学の演習でも取り上げています。カフカ作品に対して、はじめは多くの学生が難しいと感じるようですが、授業終盤になると自分なりの解釈ができるようになっています。皆さんも最初はよく分からない作品だと感じるかもしれませんが、回数を重ねていくことで、間違いなく理解度は深まっていきます。文学作品を読むおもしろさを皆さんにお伝えできればと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

客員教員の「談・談」

田畑修一郎「出雲・石見」について

客員教授　武田　信明

太宰治の代表作の一つに「津軽」（昭和１９年）があります。全集などでは小説に分類されていますが、太宰が故郷の津軽地方を旅して書いた旅行記であるとも考えられます。実はこの作品は、小山書店が企画した「新風土記叢書」の１冊です。昭和という新時代に、日本各県の風土や人間について、各県の出身作家に書かせようという企画でした。日本全国を網羅する予定でしたが、戦争下にあって執筆、出版もままならず、わずか８冊で打ち切られました。古書市場でこの８冊が揃って出品されることは稀なのですが、昨年幸運にも８冊揃いを購入することができました。

太宰の「津軽」ばかりが有名であり、この中に田畑修一郎「出雲・石見」（昭和１８年）の一冊があることは、あまり知られていません。田畑修一郎は明治３６年島根県益田市生まれ。文学に傾倒し早稲田大学在学中から作品を発表しはじめ、昭和８年に発表した「鳥羽家の子供」は芥川賞候補作になっています。そして当時新進気鋭の作家として注目されていた田畑修一郎に島根県の風土記を書かせることになったのです。

将来を嘱望されていた田畑修一郎ですが、昭和１８年岩手県を旅行中に体調をくずし、緊急入院した盛岡日赤病院で、昭和１８年７月２３日心臓まひのため急死します。４１歳という若さでした。「出雲・石見」が刊行されたのは翌月の８月２０日。これが田畑修一郎の遺作となりました。「出雲・石見」は島根大学図書館にも所蔵されていますが、その冒頭第一章は「水と空と雲」と題されています。風土記執筆に際し、彼は島根の自然から書き起こしたということです。

「ナツメグ」とサッカー

客員教授　田中　芳文

サッカーのワールドカップ、日本代表はブラジルとの激闘の末に敗退しました。その試合経過を伝えるBBC（英国放送協会）の記事にnutmeg（ナツメグ）という語が出てきます。同点弾を決められた直後の後半13分、ブラジルのエース、ヴィニシウス・ジュニオール選手が日本の守備陣を次々と華麗にかわしてシュートを放ち、日本の守護神・鈴木彩艶選手がかろうじて左手の親指で防いだ場面です。ヴィニシウス選手はその直前、「股ぬき」で冨安健洋選手を抜き去り、日本ゴールに迫っていました。

ナツメグは料理やお菓子作りに使われる香辛料の名前ですが、サッカーの試合ではまったく異なる意味で使われます。相手選手の脚のあいだにボールを通して抜き去るテクニック、いわゆる「股ぬき」を指すのです。英語では、このプレーを nutmeg と呼びます。その語源については諸説ありますが、複数形の nutmegs が legs（両脚）と韻を踏むことに由来するという説もあります。記録によれば、名詞 nutmeg が「股ぬき」の意味で使われるようになったのは 1968 年で、その後 1973 年には動詞として「股ぬきする」の意味でも用いられるようになりました。

このように、サッカーにはサッカー特有の英語表現がたくさん存在しますが、サッカー選手でなくても、メディア報道を通じて一般の人たちがそのような言語表現に出会う機会はますます増えています。「ボックス内のキツネ」とはどんな選手でしょうか？　ハーフタイムに監督が選手に施す「ヘアドライヤー治療」とは？　興味のある方は、田中芳文著『サッカー英語の語彙・表現小辞典―サッカーが好きなら英語も好きになる―』（開拓社）を参照してみて下さい。



田中先生著「サッカー英語の語彙・表現小辞典―サッカーが好きなら英語も好きになる―」は図書・視聴室に置いてあるので、ぜひ読んでみてね☆

行　事　の　報　告

◆　学　位　記　授　与　式　◆

令和８年度第１学期の学位記授与式を９月２７日（日）放送大学島根学習センター第 １講義室にて開催しました。

今回の卒業生１８名のうち６名の方が出席されました。出口所長の式辞の後、来賓の島根同窓会の竹下副会長からご祝辞をいただきました。

卒業生を代表して田中真知子さんが感謝のことばを述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。

授与式終了後、第２講義室にて同窓会主催の「卒業を祝う会」が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気で懇談が行われました。

卒　業　生　紹　介

卒業生氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

教養学部教養学科卒業

荒木　佑太	【心理と教育コース】	大場　裕子	【社会と産業コース】
加藤　綾希子	【生活と福祉コース】	田中　真知子	【人間と文化コース】
中村　貴代美	【生活と福祉コース】	堀内　千津鼓	【社会と産業コース】
山﨑　彬乃	【心理と教育コース】		













所　長　式　辞

島根学習センター所長　出口　顯

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、昨年を凌ぐ過去最高の暑く長い夏がようやく終わろうとしている今日、放送大学島根学習センター令和 8 年度第１学期の「学位授与式」を、島根学習センター同窓会副会長竹下靖彦さま、客員教員の大谷修司先生ご列席のもと執り行うことができました。卒業生の皆さま、本日は誠におめでとうございます。また、ご来賓の皆さまには卒業生の門出の会にご臨席賜りありがとうございます。

今学期卒業される学士１８名の皆さまの学習スタイルは、年齢・職業もまちまちとはいえコロナ禍以降の放送大学の変化を反映されているように思います。卒業生の平均年齢が若く、現役世代が多いこと、修学期間が 10 年以下と短いことです。インターネットでいつでもどこでも学べるという放送大学の特徴を活用した、効率のよい時間設計のたまものであると思います。もちろんコロナ禍に伴う面接授業の中止や単位認定試験の実施形態の変更の影響によるご苦労は大変であったろうと察しますが、困難を乗り越え無事卒業を果たされた、その努力と熱意に改めて敬意を表したいと思います。

皆さんは放送大学で学ぶことの楽しさを体験されたことと思います。学びを通して未知の世界が新たに開けたことは大いなる喜びです。これからは、その経験を活かして自らの力で考える楽しみを体験していただきたいと思います。

今生活のあらゆる場面で AI が活用されています。画像を作成するだけでなく、論文やレポート、俳句や小説も AI が作ってくれます。時間節約という点では有効なように見えます。しかしできあがった論文や作品にはその人ならではの個性がみられなくなります。AI に頼り過ぎると私たちは自分で考えるということをしなくなります。私たちの知力や感性が衰え退化する危険性があります。それは、コロナ禍などのパンデミック、頻繁に生じる地震･豪雨･豪雪などの天災に匹敵する危機ともいえるのではないでしょうか。日々の生活を営むための基本的な判断力が損なわれる危険があるからです。

しかしそれ以上にもっと危険だと思われるのは、何より自分で手間暇かけて調べて考えることがいかに楽しい経験であるかを味わう機会を失ってしまいかねないおそれがあるからです。

中国の後漢時代編纂された歴史書『漢書』(かんじょ)の「刑法志」に次のような文章があります。「よく師する者は陳せず、よく陳する者は戦わず、よく戦う者は敗れず、よく敗れる者は滅びず」です。「うまく軍を動かす者なら、布陣せずにことを解決する。しかし、その才がなく敵と対峙することになっても、うまく陣を敷ければ、それだけでことを解決できる。さらに、その才がなく実戦となっても、うまく戦えば負けない。そして敗者になるとしてもうまく負ければ滅びることはない」という意味です。まさにリスク管理の古典とも言うべき書ですが、ことばによるコミュニケーションと交渉や説得がまず大切であることを「刑法志」は伝えているように思えます。そのためにはことばを使ってよく考えることが大切です。

学ぶことの楽しさを身につけた皆さんには、ことばを使って考えることが楽しいことをこれからさき経験していただきながら、危機を回避する手立てを模索していただければと思います。

時代に流されない理性的思考を働かせて、ご自身や社会のよりよい今後を切り開いていかれることを願っています。

本日、学位記を受けられた皆さまにはこの期待をお伝えして私のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。

卒業生代表あいさつ



教養学部教養学科　人間と文化コース
田　中　真 知 子

秋晴れの心地良い季節になりました。本日は、私たち卒業生のために「学位記授与式」を開催していただき、誠にありがとうございます。また、お忙しい中ご出席いただきました来賓のみなさま、島根学習センターのみなさまに対して、卒業生を代表して厚くお礼を申し上げます。

私が放送大学に入学したのは、世界がコロナ禍に突入し、日本では政府からの緊急事態宣言があったり、全国の学校で一斉臨時休業が行われたり、外出自粛や社会活動自粛があり　“ステイホーム”という言葉がよく使われていた、そんな春の頃でした。コロナ禍のため、「入学者の集い」も無く、学習センターの利用禁止も重なり、私は誰とも顔を合わせることなく、孤独な学生生活が始まりました。教科書は家に届いたのですが、どうやってどんな風に学習を進めていいのか分からず、不安な日々が続きました。そのうえ、島根学習センターの１学期の面接授業はすべて中止となり、ますます不安な日々が続きました。

しばらくして、世の中が少しずつ、みんなで気を付けながら動き出し始めた頃、学習センターの利用が再開され、私の学習もやっと本格的に進め始める事が出来ました。

しかし家での学習は、個人的にはなかなか難しかったです。なぜなら、部屋には誘惑が多いからです。これは私の弱い心のせいなのですが、家に居ると、ついテレビを見てしまったり、違う事に気持ちが向いてしまったり…すぐ怠け心が出て来てしまうのです。

そこで私は、自分の心を奮い立たせるためにも、可能な限り学習センターに行き、図書・視聴室で集中して学習することに決めました。私が動ける時間は、火曜日から金曜日の昼間。なので、火曜日から金曜日の可能な日に、午前１０時から午後２時頃まで、図書・視聴室に籠り、私のお気に入りの角の席に座り、しっかり自分の世界へ没入させていただきました。いつも、事務室のみなさんにはご配慮いただき、声もかけていただき、冷暖房の調整や周りの雑音などから守っていただくなど、細かい心配りで、とても快適な学習時間を作っていただきました。本当にありがとうございました。そして、もちろん家族の協力なしでは、今日のこの日を迎えることはとても難しかったと思います。家族のみんなに本当に感謝しています。本当に本当にありがとう。

私が放送大学に入学するきっかけは、職場に届いていた放送大学のパンフレットでした。ちょうど、“学びたい”という気持ちが心の中で大きくなっていた頃に、そのパンフレットを目にし、今の私にピッタリだ！と、すぐに入学を決断しました。入学してからも、この“学びたい”という気持ちを持ち続けられたことで、無事に卒業を迎えられたのだと思います。今もまだ、“学びたい”という気持ちは持ち続けているのですが、家庭の事情で引き続き学生生活を続けていくのは難しく、今回で放送大学は卒業という形を迎えます。でも、何かまた別の形で、日々いろいろと学び続けていけたらいいなと思っています。

最後になりましたが、ご臨席のみなさま、在学生のみなさま並びに放送大学の関係者のみなさまの、今後のますますのご健勝とご発展を祈念し、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

卒業生からの言葉

出欠の返信にて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。

山﨑　彬乃さん
入学当初は不安でいっぱいでした。無事に卒業を迎えられた今、心はとても晴れやかです。ここでの学びを支えに、これからも私らしく学び続けて行きたいと思います。

中村　貴代美さん
体を壊し休学をいたしましたが、元気になり無事卒業できました。感謝申し上げます。

加藤　綾希子さん
８年間かかりましたが、無事に卒業することができて良かったです。これからも教えを生かして生活していけたらいいです。

大場　裕子さん
仕事をしながら学び続けることの楽しさを感じました。ひと休憩して、次の学びをチャレンジします。お世話になり、ありがとうございました。

田中　真知子さん
大変な時もありましたが、「学ぶ」楽しさを心から味わわせていただきました。本当にありがとうございました。



◆ 入　学　者　の　集　い ◆

９月２７日（日）、令和８年度第２学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス（学友会との共催）」を行い、新入生１８名の出席がありました。

「入学者の集い」には、来賓の島根県教育委員会社会教育課横地課長からのご挨拶と藤嶋学友会会長の歓迎のご挨拶、大谷客員教授、武田客員教授、村瀬客員教授から激励の言葉をいただきました。

入学者ガイダンス、オリエンテーション（学習の進め方等の説明）の後、学友会の藤嶋会長からのアドバイスや、先輩の体験談などを聞き、新入生はリラックスしながら、熱心にメモを取る姿もありました。

新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援いたします。



◆　公　開　講　演　会　◆

７月～１０月に隠岐の島町、松江市、出雲市、浜田市と益田市で公開講演会を開催しました。

「夏目漱石の世界」

島根学習センター客員教授・島根大学名誉教授
武田　　信明　氏
・日　時　７月２５日（土）　１４：００～１５：３０
・会　場　隠岐の島町図書館研修室
・参加者　２６名



「カフカの短編小説を読む」

島根学習センター客員准教授・島根大学准教授
山﨑　泰孝　氏
・日　時　８月８日（土）１４：００～１５：３０
・会　場　平田学習館
・参加者　２２名



「世界の図書館建築」

放送大学島根学習センター客員教授・島根大教授
千代　章一郎　氏
・日　時　９月５日（土）１４：００～１５：３０
・会　場　島根県立図書館
・参加者　１８名



「南極の生物と生育環境」

放送大学島根学習センター客員教授・島根大学名誉教授
大谷　修司　氏
・日　時　１０月３日（土）１４：００～１５：３０
・会　場　島根県西部社会教育センター（いわみーる）
・参加者　１６名



・日　時　１０月４日（日）１０：３０～１２：００
・会　場　益田市立図書館
・参加者　１９名



◆出口所長を囲んでの懇談会◆

９月６日（日）に、出口所長を囲んでの懇談会を開催しました。

この会は、１年次・２年次のうち、初めて入学された学生さんを対象に、学習を進めていく中で日頃感じられていることや、戸惑いや困りごとなどをお伺いしたいとの出口所長の思いで実施しています。

今回の懇談会では、日頃の学習の中で疑問に思うことや、追加してほしい科目の内容などについて貴重なご意見をいただいた他、これまでに研究・探求してこられた具体的な話も伺うことができ、有意義な時間となりました。

また、「もっと早く放送大学を知りたかった。」というお言葉をいただき、より多くの方々に本学の魅力を知っていただけるよう、一層努めたいと改めて感じる次第でした。

この会は毎回、学生さんが自由に、おしゃべり感覚でお話いただける雰囲気となっていますので、今後もどうぞお気軽にご参加ください。

行　事　の　案　内

◆　公　開　講　演　会　◆

公開講演会を以下のとおり開催します。事前にお申し込みください。（☎ 0852-28-5500）

●「医療現場の英語、サッカーの英語」

島根学習センター客員教授　田中　芳文　氏

日　時：１１月７日（土）　１４：００～１５：３０
場　所：出雲市役所　くにびき大ホール
内　容：島根県内の医療拠点である出雲市は、医学部や基幹病院を有する地域であるとともに、女子サッカーをはじめ、子どもから高校生、社会人まで幅広い世代でサッカーが親しまれています。本講演では、出雲市のこうした地域的特色を踏まえ、医療とサッカーという身近なテーマを通して、英語表現やその背景文化について紹介します。英和辞典をお持ちの方は、ぜひご持参ください。



●「安来の両墓制と通過儀礼の現在」

島根学習センター所長　出口　顯　氏

日　時：１２月１２日（土）　１４：００～１５：００
場　所：和鋼博物館
内　容：通過儀礼とは、誕生、成人、結婚、死などの人生の節目に行われる儀礼のことで、葬儀・法事も含まれます。このうち両墓制とは、遺体を埋葬する墓と(埋め墓)と、お参りする墓(詣り墓)が別々の場所に存在するという、日本の伝統的な葬制の一つで、安来地方にも存在します。しかし現在、人口減少・高齢化などに伴い墓じまいや、葬儀そのものが行われなくなってきています。この講演では、儀礼の過去と現在の姿を考えてみたいと思います。

●「夏目漱石の世界」

島根学習センター客員教授　武田　信明　氏

日　時：１月１６日（土）　１４：００～１５：００
場　所：島根県立図書館
内　容：NHK 朝のドラマ「ばけばけ」が話題となりましたが、実は小泉八雲と夏目漱石は同時代人です。今回は、文豪夏目漱石について分かりやすく紹介いたします。
特に彼の代表作のひとつである「三四郎」という小説を中心にします。
「三四郎」は、明治 41 年に『朝日新聞』に連載された長篇小説です。九州から帝大入学のため上京した小川三四郎が、東京でさまざまな人物と出会い、さまざまな事件に巻き込まれていくという物語です。青春小説でもあり恋愛小説でもある一方で、作品のすべての部分が複雑に関連しあう見事な構成を持ちます。講演では、「三四郎」を具体的に読むことで、明治という時代の一端を知るとともに、漱石作品の面白さも体験していただくことにしましょう。
また漱石の書物は美術品とも言える装幀がほどこされていることで有名です。当日持参いたしますので現物をご覧いただきます。

◆2027年４月入学に向けた「入学説明会・相談会」◆



２０２７年４月入学の出願受付期間は１１月下旬～３月上旬の予定です。
入学説明会・相談会のうち、１２月の予定は次のとおりです。

○　松江会場　１２月２６日（土）　１０時～、１４時～　島根学習センター第２講義室

なお、２月も説明会を予定しております。日時は次号の『だんだん』でお知らせします。

お 知 ら せ

◆「学生生活の栞」・「利用の手引き」◆

『学生生活の栞』は、皆さんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式がありますので、ご利用ください。



『利用の手引』は、島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載しています。ご一読ください。

なお、『学生生活の栞』及び『利用の手引』は２０２６年度から電子形式で提供しております。記載の URL からご覧ください。

○　学生生活の栞　https://www.ouj.ac.jp/for-students/handbook/
○　利用の手引き　https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shimane/school/free3.html

◆ システム ＷＡＫＡＢＡ ◆

「利用の手引き」P12～13
「学生生活の栞」　教養学部 P27～29、P113～115
大学院 P40～42、P113～115

放送大学では学修をサポートするため、インターネットを利用した各種システムを提供しています。このうち学生の皆さんがよく使われるのが**「システムＷＡＫＡＢＡ」**です。

システム WAKABA は放送大学ウェブサイトからログインできます。操作方法等、お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

また、放送大学 YouTube チャンネルから「システム WAKABA の使い方」の動画もご覧ください。

送大学 YouTube チャンネル
「システム WAKABA の使い方」

放送大学ウェブサイト（https://www.ouj.ac.jp）からシステム WAKABA にログイン

●PC 版
画面上部ヘッドメニュー＞在学（WAKABA）



●スマートフォン版
画面右上メニュー＞在学生（WAKABA）





ログインＩＤは学生番号からハイフンを除いた 10 桁の数字です。パスワードは個人で設定したパスワードです。
新入生のログインＩＤ・パスワード入学許可証に記載されています。初回ログイン時は、必ず、**パスワード変更 URL から、パスワード変更**を行ったのちログインしてください。
※パスワードを初期化した場合の初回のログイン時も同様です。
パスワード設定条件
・８文字以上
・英字（大小は問わず）を１文字以上、数字を１文字以上含める
・ログイン名は含めない

◆　通　信　指　導　◆

参照　「学生生活の栞」　教養学部 P68～74　大学院 P73～78

通信指導は、放送授業科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に１回前半の一定の範囲で出題されます。「提出型問題」の解答を提出し合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。 期限後の提出や未提出は、評価対象になりませんので注意してください。

●提出期間

2026年11月5日（木）10：00～11月25日（水）17：00



忘れずに！

※郵送による提出（郵送提出科目、単位認定試験を学習センターにしている場合）
2026年11月11日（水）～11月25日（水）必着



郵送提出科目　・・・「市民自治の知識と実践（’21）」、「日本美術史の近代とその外部（’18）」、「文学批評への招待（’18）」、「空間と政治（’22）」「現実と向き合う政治理論（’22）」（院）

◆　Ｗｅｂ　単　位　認　定　試　験　◆

参照　「学生生活の栞」　教養学部 P74～82　大学院 P79～85

単位認定試験は、Web 受験方式により実施します（郵送受験方式の科目を除く）。自宅等からインターネットを通じて、Web 単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、１科目 50 分の制限時間があり、各科目１回のみ受験可能です。受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

●提出期間

試験の出題形式により試験期間が異なりますのでご注意ください。

・択一式科目：2027年１月17日（日）９：00～１月25日（月）17：00

・記述式・併用式科目：2027年１月17日（日）９：00～１月21日（木）17：00

※郵送提出科目：2026年１月17日（日）～１月21日（木）＜必着＞

郵送提出科目・・・「行政学講説（’24）」、「正多面体と素数（’21）」、「日本美術史の近代とその外部（‘18）」、「量子科学（’19）」



※大学院の科目を受験する場合は、Web カメラによる本人確認を実施します。通信指導期間中に、Web 単位認定試験システム上で Web カメラの動作確認を行ってください。詳しくは、大学院冊子「授業科目案内」P５をご覧ください。

単位認定試験体験会

操作体験会を下記の予定で実施します。事前に島根学習センター窓口またはメールでお申込みください。　✉shimane-sc@ouj.ac.jp

日時：１月９日（土）　10時～11時　15時～16時
定員：各回３名
場所：島根学習センター　第２講義室（４F）



◆島根大学への双方向「単位互換制度」説明会◆

単位互換制度とは、大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学の修得した単位として認定する制度です。

島根学習センターでは、島根大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

１．出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の３つの要件をすべて満たしている者で、単位互換校へ通学可能な学生を募集の対象とします。

（１）出願時、履修時及び単位認定時に全科履修生である者
（２）出願時に本学の在学年数が通算１年以上の者
（３）出願時に放送授業科目において 30 単位以上を修得している者

２．履修できる授業科目

	島根大学
受講可能科目	原則として医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。
受講料	１単位当たり　5,500 円（１科目２単位:11,000 円）
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】松江市西川津町 1060 番地 法文学部、教育学部、人間科学部、総合理工学部 材料エネルギー学部、生物資源科学部

３．出願から学習修了までのスケジュール

事　　項	日　　程		備　　考
	第１学期	第２学期	
出願相談 申請書類の提出	～1 月中旬	～7 月中旬	相談窓口・提出先： 島根学習センター
特別聴講学生 受入決定の通知	３月下旬	９月下旬	島根大学から本人に通知
講義の履修	４月～９月	10 月～翌年３月	場所：島根大学
単位認定試験の受験	（履修科目の担当教員の指示を受けてください）		場所：島根大学
成績通知	９月中旬	翌年３月中旬	島根大学から本人に通知
単位の認定	１０月上旬	翌年４月上旬	修得した単位を本学の単位として認定

４．2027 年度第１学期単位互換制度の説明会を下記のとおり開催します。

日　　時	**２０２６年１２月１１日（金）　　15:00 ～ 16:00**
場　　所	**島根学習センター　第２講義室**

・**要予約**　**島根学習センター　☎ 0852-28-5500　　✉ shimane-sc@ouj.ac.jp**





◆　面　接　授　業　◆

2026年度第２学期 島根学習センター開設の面接授業一覧

△は追加登録ができない科目です。
◆はフィールドワークを行う授業です。
◎は、自分用パソコン持ち込み方式（BYOD）で実施します。
★は公開授業です。定員 35 名のうち５名は共修生を受入れます。

授業実施日	科目区分・ナンバリング	定員	科　目　名	注	担当講師名
１０月１７日（土） １０月１８日（日）	導入：自然と環境 210（初級）	20	教養としての化学入門	△	橋本　健朗 （放送大学教授）
１０月２４日（土） １０月２５日（日）	専門：生活と福祉 320（中級）	40	人体発生学	△	橋本　龍樹 （島根大学教授）
１０月３１日（土） １１月　１日（日）	専門：社会と産業 320（中級）	20	著作権法の基礎		井上　由里子 （放送大学教授）
１０月３１日（土） １１月　１日（日）	専門：人間と文化 320（中級）	30	神々が集う　出雲神在祭	◆	品川　知彦 （山陰民俗学会監事/前島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長）
１１月　７日（土） １１月　８日（日）	専門：心理と教育 320（中級）	18	心理学実験３	◎	源　健宏 （島根大学准教授）
１１月２１日（土） １１月２２日（日）	専門：社会と産業 320（中級）	35	アメリカの今と私たち	★	小畑　由里 （元インディアナ大学准教授/横浜国立大学特任非常勤講師）
１１月２８日（土） １１月２９日（日）	専門：人間と文化 320（中級）	40	戦争の歴史と記憶		前田　しほ （島根大学准教授）
１１月２８日（土） １１月２９日（日）	専門：自然と環境 320（中級）	40	ポストＳＤＧｓへ向けて		松本　一郎 （島根大学教授）
１２月１２日（土） １２月１３日（日）	専門：人間と文化 320（中級）	40	道徳的な正しさは相対的か？		田中　一馬 （島根大学准教授）
１２月１２日（土） １２月１３日（日）	専門：自然と環境 320（中級）	40	手を動かして学ぶ音と光		塚田　真也 （広島大学准教授）
１２月１９日（土） １２月２０日（日）	専門：心理と教育 320（中級）	20	発達障害の臨床心理学		山中　智央 （島根大学講師）
１２月１９日（土） １２月２０日（日）	専門：人間と文化 320（中級）	40	近世の出版文化		田中　則雄 （島根大学教授）



◆面接授業の追加登録について◆

島根学習センターで開設する2026年度第2学期面接授業追加登録方法は、以下の通りです。

■面接授業の追加登録方法（島根学習センター開設科目について）

1．空席発表：10月16日（金）15時

空席のある科目と人数をシステムWAKABAで発表

2．事前申請受付：10月16日（金）15時～10月21日（水）13時10分

◆島根学習センターのウェブサイトまたは窓口で、面接授業の追加登録を申請

A．ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、入力フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

B．学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要事項をご記入の上、学習センター窓口へ提出してください。

※追加登録申請書を郵送することも可能ですが、その場合は10月21日（水）午前必着です。
昨今の郵送事情から配送が遅れることが予想されますので、ウェブサイトからの申請を推奨します。

◆当選科目を連絡：10月22日（木）

キャンパスメール（学生番号@campus.ouj.ac.jp）に抽選結果をお知らせします。

★当選の連絡（キャンパスメール）が来たら、島根学習センターに授業料納付

◆授業料納入：10月25日（日）16時まで

以下の（1）、（2）いずれかの方法で授業料を納入してください。

（1） メール型決済での納入

（2） 学習センター窓口での納入

※（1）、（2）以外の方法を希望される場合は学習センターまでご相談ください。

3．先着申請受付：10月22日（木）15時以降

事前申請で満席とならなかった場合、先着順で申込を受付けます。

（原則、開催日の7日前までですが、科目ごとに受付期限日が決まっていますので、ご確認の上お申し込みください）

A．ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、入力フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

B．学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要事項をご記入の上、学習センター窓口へ提出してください。

◆授業料納入

以下の（1）、（2）いずれかの方法で授業料を納入してください。

（1）メール型決済での納入

（2）学習センター窓口での納入

※（1）、（2）以外の方法を希望される場合は学習センターまでご相談ください。



窓口受付時間【月・火・祝日を除く】9時30分～17時30分

☎ 0852-28-5500

◆ ゼ ミ （ 学 習 会 ） ◆

島根学習センターでは客員教員による６つのゼミを開講しています。

ゼミとは、客員教員が、専門分野のテーマに沿って開講する少人数・双方向型の学習会です。講義を受講するだけでなく、教材をもとに質疑応答などを交えながら学習を深めていきます。

単位の取得はできませんが、先生から直接指導を受けられ、学生同士のディスカッションや交流のできる貴重な機会です。学生の皆様にとって有意義な時間になるはずです。ぜひ受講ください。

- **対象者**：島根学習センター所属の学生
（学生の種類は問いません。ただし休学者は除く）
- **会　場**：島根学習センター講義室等
- **受講料**：無料
- **単位取得**：なし
- **申込〆切**：各ゼミの第２回開催日前日まで
（申込〆切後も定員になるまで随時募集）
- **申込方法**：電話またはメールにてお申込みください。

☎　0852-28-5500　✉　shimane-sc@ouj.ac.jp





10 月からは、以下のゼミを開講します。各ゼミの第１回目はオリエンテーションです。まだゼミを受講したことがない方もお気軽にご参加ください。雰囲気や内容を確かめたうえで、お申込みいただくことも可能です。

自然から学ぶ：秋から冬の身近な植物を観察しよう **大谷修司　客員教授** **定員 10 名** **●水曜日 10：30～12：00** 10/21、11/4、12/2、1/6、2/3、3/3	毎回野外に出て植物を肉眼だけでなくルーペや実体顕微鏡を用いて精緻なつくりを観察しましょう。春から夏は花も多く植物に目が行きますが、秋から冬に実施される２学期も様々な植物の姿を観察できます。秋から冬に花が咲く樹木があり、どんぐりなどの果実ができ、寒い冬を越すために落葉など冬支度を始めます。どんぐりの成る樹木を探したり、冬芽の断面を作成したり、普段と違う角度から植物観察を実施しましょう。皆さんには植物の特徴をメモしたり花や葉をスケッチしてカードを作成しファイルとして持ち帰っていただきます。 ※ゼミ参加日前日までに学生教育研究災害傷害保険への加入が必要です。（保険期間６年/100 円）
建築の歴史：西洋の建築を中心に **千代章一郎　客員教授** **定員 10 名** **●金曜日 9：30～11：00** （10/29 は木曜日） 10/29、11/13、12/4、1/8、2/5、3/5	現代の建築は、どんな斬新な建物であっても、長い時間をかけて築かれた歴史的な蓄積に基づいてつくられています。そんな建築の歴史を少しずつ学びながら、日本に限らず世界の素晴らしい建築の歴史の世界を味わってみたいと思います。それは人間の技術について学ぶこと、人間の社会について学ぶこと、そして人間自身について学ぶことと深くつながっています。第２学期のゼミでは、とりわけ西洋の建築の歴史について幅広く学びます。 

小説を読む楽しみ―大江健三郎 武田信明　客員教授 定員 10 名 ●木曜日 13：30～15：00 10/22、11/19、12/17、1/28、2/18、3/18	今期は、大江健三郎「芽むしり仔撃ち」（新潮文庫）をテキストにして、皆さんとじっくり読み進めていきます。大江健三郎は、戦後の日本文学を代表する作家であり、ノーベル文学賞受賞作家でもあります。このように書くと難解なイメージをお持ちになるかもしれませんが、本作は戦時中に疎開先の山奥の村に取り残された子ども達を主人公にした物語であり、波乱に富む面白く読みやすいものです。まずは各自が自由に読むことから始めます。各自の素朴な感想が出発点です。そして小説には「読み方」のポイント（方法）がありますので、それらを提示します。参考にしながら、いろいろな観点から深く読んでみましょう。意見交換の他、簡単な発表（レジュメ）もしていただきます。
エド・マクベイン『キングの身代金』で学ぶ英語 田中芳文　客員教授 定員 10 名 ●水曜日 10：30～12：00 （10/28、1/27 は 13：30～15：00） 10/28、11/18、12/16、1/27、2/17、3/17	エド・マクベイン（Ed McBain）の原作 ***King's Ransom*** の翻訳書**『キングの身代金』**を参考にしながら、リトールド版の英語テキストを読むことで、（アメリカ）英語の熟語、構文、文法や文化的背景などについて学びます。 受講生には、気になった英語表現などについて各自で調べ、その内容を簡単に発表してもらいます。テキストは、**堂場瞬一（訳）『キングの身代金〔新訳版〕』（ハヤカワ文庫）**を使用します。各自でご用意ください（旧版の井上一夫（訳）でも可）。また、英和辞典を必ず持参してください（電子辞書ではなく、紙の辞書が望ましいです）。英文教材はこちらで準備します。
実験・調査を通して知る心の仕組み 村瀬俊樹　客員教授 定員 10 名 ●水曜日 10：30～12：00 10/28、11/25、12/23、1/27、2/24、3/24	発達心理学・社会心理学・文化心理学に関する基礎的な内容について、教員からの話題提供、および、参加者からの発表をもとに学んでいきます。参加者の方には、これらの領域の入門書を数冊紹介しますので、その中から、関心のある本の１章程度を選んで期間中に１回発表（15 分程度）をしていただきます。紹介した入門書以外でも、教員の守備範囲とマッチする場合は、それについて発表していただいてもかまいません。見えない心を実験や調査で客観的に見ることができるものとして取り出し、多くの人に実験や調査に参加してもらい、その結果から一般的な傾向としての心の仕組みを探る心理学の世界を、ご一緒に味わっていければと思っています。
ドイツ文学の作品を読む 山下泰孝　客員准教授 定員 10 名 ●金曜日 10：30～12：00 10/23、11/27、12/25、1/29、2/26、3/26	このゼミでは翻訳を用いてドイツ文学の作品を読んでいきたいと思います。取り上げるのは『変身』や『城』などで有名なフランツ・カフカの短編作品です。テキストとして使用するのは、第 1 学期と同じ岩波文庫の池内紀編『カフカ寓話集』です（テキストは各自での準備をお願いします）。ゼミのなかでは、皆でカフカの短編を細かく読んでいきます。その際、作者に関する伝記的知識や、作品の注目ポイント、先行研究における解釈例などを紹介します。それらを踏まえて、各自がいだく疑問点や解釈などをいっしょに議論できればと考えています。

◆　学　習　相　談　◆

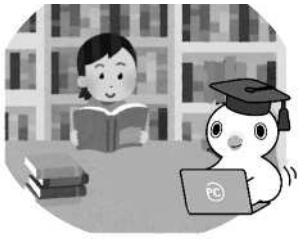
学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談票に相談内容を記入し、相談日の３日前までにご提出ください。（電話での申込みの場合は希望日時、相談内容等をお伝えください。）

■　**相談時間　１人１時間以内**

■　**学習相談票は窓口、島根学習センターWeb サイトに Word と PDF のファイルを用意していますのでご活用ください。**

■　**問合せ　島根学習センター**　☎　0852-28-5500　FAX　0852-28-1800
✉　shimane-sc@ouj.ac.jp

教員名（専門分野）	学習相談日	
大谷修司（植物分類学）	10月	8日（木）　9：30～12：30
		15日（木）　9：30～12：30
	11月	12日（木）　9：30～12：30
		26日（木）　9：30～12：30
	12月	10日（木）　9：30～12：30
		24日（木）　9：30～12：30
千代章一郎（建築学）	10月	30日（金）　9：30～12：30
	11月	27日（金）　9：30～12：30
	12月	11日（金）　9：30～12：30
武田信明（日本近代文学）	10月	15日（木）13：00～16：00
		29日（木）13：00～16：00
	11月	12日（木）13：00～16：00
		26日（木）13：00～16：00
	12月	10日（木）13：00～16：00
		24日（木）13：00～16：00
田中芳文（英語学・社会言語学）	10月	2日（金）　9：30～12：30
		4日（日）　9：30～12：30
	11月	4日（水）　9：30～12：30
		5日（木）　9：30～12：30
	12月	2日（水）　9：30～12：30
		3日（木）　9：30～12：30
村瀬俊樹（心理学）	10月	7日（水）　9：40～12：40
		21日（水）13：30～16：30
	11月	14日（土）13：30～16：30
		18日（水）　9：40～12：40
	12月	5日（土）13：30～16：30
		16日（水）　9：40～12：40
山崎泰孝（ドイツ文学）	10月	2日（金）　9：30～12：30
		30日（金）　9：30～12：30
	11月	6日（金）　9：30～12：30
		13日（金）　9：30～12：30
	12月	4日（金）　9：30～12：30
		18日（金）　9：30～12：30
出口顕（文化人類学）	随時（出勤日）	



◆　図　書　・　視　聴　室　◆

◆図書・視聴室の利用時間

9：30 ～ 17：30　（学習センター開所日）

2026 年４月から週２日閉所しています。お越しの際は学習センターWeb サイトもしくは本誌２２ページのスケジュールで開所日をご確認ください。

◆単位認定試験期間中の利用について著者

１月 17 日(日)～１月 25 日(月)の単位認定試験期間中は、島根学習センターで受験する学生以外の図書・視聴室利用はできませんのでご了承ください。（島根学習センターで受験する学生は、受験日のみ利用できます。）

◆所長および客員教員による推薦図書について

図書・視聴室に配架しました。図書・視聴室内にて閲覧できます。

・非認知能力の発達：生涯にわたる変化と影響	（小塩真司（編著）／北大路出版）
・超高齢化社会のモノづくり・デザイン：つくば型リビング・ラボの挑戦	（原田悦子・須藤智（編著）／ちとせプレス）
・子どもとめぐることばの世界	（萩原広道／ミネルヴァ書房）
・「わかる」はどう深まるか：子どもの思考の発達と協同的探究学習	（藤村宣之／ちとせプレス）
・社会心理学：社会を動かすもの・変える力	（杉浦淳吉・尾崎由佳・村山綾／有斐閣）
・心理学入門コース２　認知と感情の心理学	（高橋雅延／岩波書店）
・みんなの防災心理学：日常と災害をつなぐ	（矢守克也／ナカニシヤ出版）
・教育とは何か	（ティム・インゴルド／亜紀書房）
・世代とは何か	（ティム・インゴルド／亜紀書房）
・将軍の都の客人	（エイミー・スタンリー／みすず書房）
・世界の英語-５大陸に広がる多様な Englishes	（寺澤盾／中央公論新社）
・英単語の世界-多義語と意味変化から見る	（寺澤盾／中央公論新社）
・医療現場の英語表現	（田中芳文／開拓社）
・医療現場の英語辞典	（山田政美・田中芳文（編著）／三省堂）
・野球英語のトリセツ―野球が好きなら英語も好きになる―	（内田聖二／開拓社）
・サッカー英語の語彙・表現小辞典―サッカーが好きなら英語も好きになる―	（田中芳文／開拓社）
・キングの身代金	（堂場瞬一（訳）／早川書房）
・山渓ハンディ図鑑１「野に咲く花」増補改訂新版	（門田裕一（監修）／山と渓谷社）
・山渓ハンディ図鑑「樹木の葉」第３版	（林 将之／山と渓谷社）

島根学習センターで開講するゼミのテキストの一部も配架しております。

テキストの内容が知りたい方は、図書・視聴室へお気軽にお立ち寄りください。

◆情　報　募　集（地域貢献ボランティア活動）◆

ボランティア活動をなさっている皆さん、どういった活動をなさっていますか？

放送大学では、学生同士の交流や、より活発な活動に役立ててもらおうと、ホームページに全国各地で地域貢献ボランティア活動をする学生の情報を紹介しています。

自分が行う活動を放送大学ホームページで紹介してみようと思われる方は、下記連絡先までお知らせください。折り返しご連絡の上、調査シートをお送りします。

連絡先：☎　0852-28-5500　　✉　shimane-sc@ouj.ac.jp

◎放送大学 WEB サイト　ー地域貢献活動の取り組みについてー地域貢献活動をする学生の紹介

https://www.ouj.ac.jp/pj/member.html

◆西部地域にお住まいの学生のみなさまへ（浜田・益田コーナー）◆

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」（18頁、19頁）をご覧ください。

浜田コーナー
島根県立西部社会教育研修センター内
（いわみーる３階）



益田コーナー
益田市立図書館内
（カウンターでお問い合わせください。）



★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。

★西部履修相談について（予告）・・・2月4日（木）（益田）、5日（金）（浜田）で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

◆ 学 生 証 に つ い て ◆

学生証の受け取りがまだの方または有効期限が切れた方は以下の方法で交付を受けてください。

【郵送による交付】①～③を学習センターへ郵送してください。

①郵送による学生証交付願
②返信用封筒（宛先を明記のうえ、特定記録郵便３２０円分の切手を貼付）
③在学生の方 ➔①、②と有効期限切れの学生証
　新入学の方 ➔①、②と入学許可書の写しと顔写真付きの公的な身分証明書（運転免許証等）の写し

【窓口での交付】上記③を持参のうえ窓口へお越しください。

---------- ✂ キリトリ ✂ ----------

郵送による学生証交付願

学生番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日　　電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学生の種類　（○で囲んでください）

全科　選科　科目　修士全科　修士選科　修士科目　博士全科　特別聴講　集中・司書

島根同窓会通信（55）

2026 年９月現在　会員数 76 名

防災講座＆季節の食材を楽しむ会を開催！！



２０２６年6月２７日（土）11：00～13：30 島根学習センター第二講義室において、防災部と文化部とのコラボ企画として、防災講座＆季節の食材を楽しむ会を開催しました。今年も、各地で地震や大雨などいろいろな災害が発生しています。同窓会では自助を目標に防災知識を身に着ける取組を実施しています。今年２月の第 20 回市民公開講座に続き、第２弾として今回の講演会を開催しました。あわせてコロナ禍以降会員同士が集まる機会が減っています。新年の抱負にも載せましたが、同窓会では会員同士が参加できる場を提供したいと思っています。今回は文化部とのコラボ企画として講演会の後は季節の食材を楽しむ会もセットで開催しました。勉強したあとは和やかにおなかを満たすことができました。今後も形にこだわらず、会員の皆さんが集まれる機会を多く作りたいと思っていますのでこれからの企画にも多数参加をお願いします。



今後の企画をお知らせします！！



島根同窓会は地域貢献活動の一環として、今年も１１月に開催予定の**「植樹による森林保全活動」**へ参加します。ぜひ、家族とともに参加をお願いします。詳細は別途ホームページなどでお知らせします。



また、昨年、好評だった**「コンニャク作り会」**を今年も年末に企画します。会場の都合で人数制限がありますが多数の参加をお願いします。こちらも、詳細は別途お知らせします。

最後に、市民公開講座も開催予定です。こちらの時期（年明）と内容は未定ですが決定しだいお知らせしたいと思います。

サークル紹介

学友会

●活動：随時
●年会費 1,000 円
（2 学期からの新規入会は 500 円）
●代表者：藤嶋

学生研修旅行（センターとの共催）、ロコモ体操、松江散策ツアー、入学者への学習方法アドバイスなど学習に役立つことや学生間の交流になる事業を行っています。また、学生に不要となった印刷教材の再利用（リユース）などの取り組みも行っています。

古文書を読む会

●毎月１回　第３水曜日　13:00～15:30
●会費：月額５００円で６ヶ月分前払い
●代表者：竹下
※学外者も入会可

古文書を自分で読めた時の喜びや達成感は計り知れません。毎回講師を招き、江戸時代に書かれた古文書の原文を読み下すだけでなく、当時の社会構造や武家社会の状況、村に残されていた村方文書についても解読します。さらに時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。特に松江藩郡奉行文書（全国で唯一訴状から裁きが終わるまでの文書）は身近な地名や人物が判明して、興味が一段と湧いてきます。

だんだんサロン・表現の会

●毎月１回　主に第３木曜日　１３：３０～１６：００
●会費：無料
●代表者：知野見
※学外者も入会可

表現活動（話す・書く）を通して、豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的として以下の活動を行っています。
（おしゃべり会）自由な話し合いを通して、話しことばの楽しさを学ぶ
（作文の時間）作文を読みあうことで、文章表現を学ぶ
※前半は「おしゃべり会」、後半は「作文の時間」です。どちらかだけの参加もできます。

スケジュール

【相】学習相談　【ゼ】ゼミ　●面接授業

10月

日	曜	行事予定	
1	木		
2	金	【相】田中 【相】山崎	
3	土		大学院入試 公開講演会（浜田）
4	日	【相】田中	公開講演会（益田）
5	月	閉所日	
6	火	閉所日	
7	水	【相】村瀬	
8	木	【相】大谷	
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	スポーツの日	
13	火		
14	水	閉所日	
15	木	【相】大谷 【相】武田	
16	金		
17	土		●教養としての化学入門
18	日		
19	月	閉所日	
20	火	閉所日	
21	水	【相】村瀬 【ゼ】大谷	
22	木	【ゼ】武田	
23	金	【ゼ】山崎	
24	土		●人体発生学
25	日		
26	月	閉所日	
27	火	閉所日	
28	水	【ゼ】田中 【ゼ】村瀬	
29	木	【相】武田 【ゼ】千代	
30	金	【相】千代 【相】山崎	
31	土		●著作権法の基礎 ●神々が集う　出雲神在祭

11月

日	曜	行事予定	
1	日		●著作権法の基礎 ●神々が集う　出雲神在祭
2	月	閉所日	
3	火	文化の日	
4	水	【相】田中 【ゼ】大谷	
5	木	【相】田中	
6	金	【相】山崎	
7	土		●心理学実験３
8	日		
9	月	閉所日	
10	火		
11	水	閉所日	
12	木	【相】大谷 【相】武田	
13	金	【相】山崎 【ゼ】千代	
14	土	【相】村瀬	
15	日		
16	月	閉所日	
17	火	閉所日	
18	水	【相】村瀬 【ゼ】田中	
19	木	【ゼ】武田	
20	金		
21	土		●アメリカの今と私たち
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	閉所日	
25	水	【ゼ】村瀬	
26	木	【相】大谷 【相】武田	
27	金	【相】千代 【ゼ】山崎	
28	土		●戦争の歴史と記憶 ●ポストSDGsへ向けて
29	日		
30	月	閉所日	

12月

日	曜	行事予定	
1	火	閉所日	
2	水	【相】田中 【ゼ】大谷	
3	木	【相】田中	
4	金	【相】山崎 【ゼ】千代	
5	土	【相】村瀬	
6	日	閉所日	
7	月	閉所日	
8	火		
9	水	閉所日	
10	木	【相】大谷 【相】武田	
11	金	【相】千代	
12	土		●道徳的な正しさは相対的か？ ●手を動かして学ぶ音と光
13	日		
14	月	閉所日	
15	火	閉所日	
16	水	【相】村瀬 【ゼ】田中	
17	木	【ゼ】武田	
18	金	【相】山崎	
19	土		●発達障害の臨床心理学 ●近代の出版文化
20	日		
21	月	閉所日	
22	火	閉所日	
23	水	【ゼ】村瀬	
24	木	【相】大谷 【相】武田	
25	金	【ゼ】山崎	
26	土		入学相談会（松江）
27	日		
28	月	閉所日	
29	火	閉所日	
30	水	閉所日	
31	木	閉所日	

開所時間　９：30～17：30



MEMO

今年の夏も猛暑の日々が続き、また秋もゆっくりと深まっていくと言われています。
放送大学の学生さんたちは、皆さんそれぞれの思いをもちながら学びを進めておられることと思います。
入学当初に履修した勢いをさらに増していく方がおられる一方で、学習への意欲が保てなくなった方など、状況は様々だと思います。 時には無理をせず、ゆっくりと学習を進めていい時期もあるのではないでしょうか。ぜひ今一度、学びの場に身を置いていることの尊さを実感し、楽しく学習を進めていただきたいと思います。
時々環境を変え、学習センターを利用したり、履修相談をして自分の学習計画を振り返ったりしてみてはいかがでしょうか。
放送大学で学ぶことで、学生の皆さんの心が豊かになることを心から願っています。　（坂根）